

# これからの環境と建築

市民参加型講演会

## 木の魅力を広げる



中村 勉氏

建築家・工学院大学特任教授  
ものつり大学名誉教授

右／大東文化大学  
大学の中心的な出会いの場に、  
太陽電池セルをガラスに設り、  
木漫れ島（こもれび島）がおちているような  
気持ちのよい空間をついている

下／七沢希望の丘初等学校  
里山の小さな環境世界で自立する環境建築

写真：堀内広治



2012年7月28日[土]

15:00-17:45

建設センター3F「菊の間」

徳島市富田浜2丁目10

参加費：無料

中村 勉（なかむら べん）プロフィール  
建築家・工学院大学特別専任教授、  
ものつり大学名誉教授  
1969年東京大学卒業、横濱合計画事務所 所員、1988年より中村勉総合計画事務所主宰  
建築設計・地域計画を通じ、地域環境問題への啓蒙、木造建築の規劃緩和と普及、自然エネルギーで被災地の希望をつなぐ活動を行っている。  
日本建築家協会JIA環境行動ラボ主任研究員、東京建築士会環境委員会委員長、日本建築学会地震環境委員会、21世紀環境立国戦略会議、すまいと住まい方促進会議、中長期ロードマップWG、低炭素まちづくり委員会などで環境建築の研究と政策提言を行ってきた。東日本大震災直後に復興構想を提案。  
現在赤坂智雄氏のチームで福島県へ提言。南相馬市、浪江町の復興有識者会議委員。NHK復興サポート「福島発エネルギーシフト」。

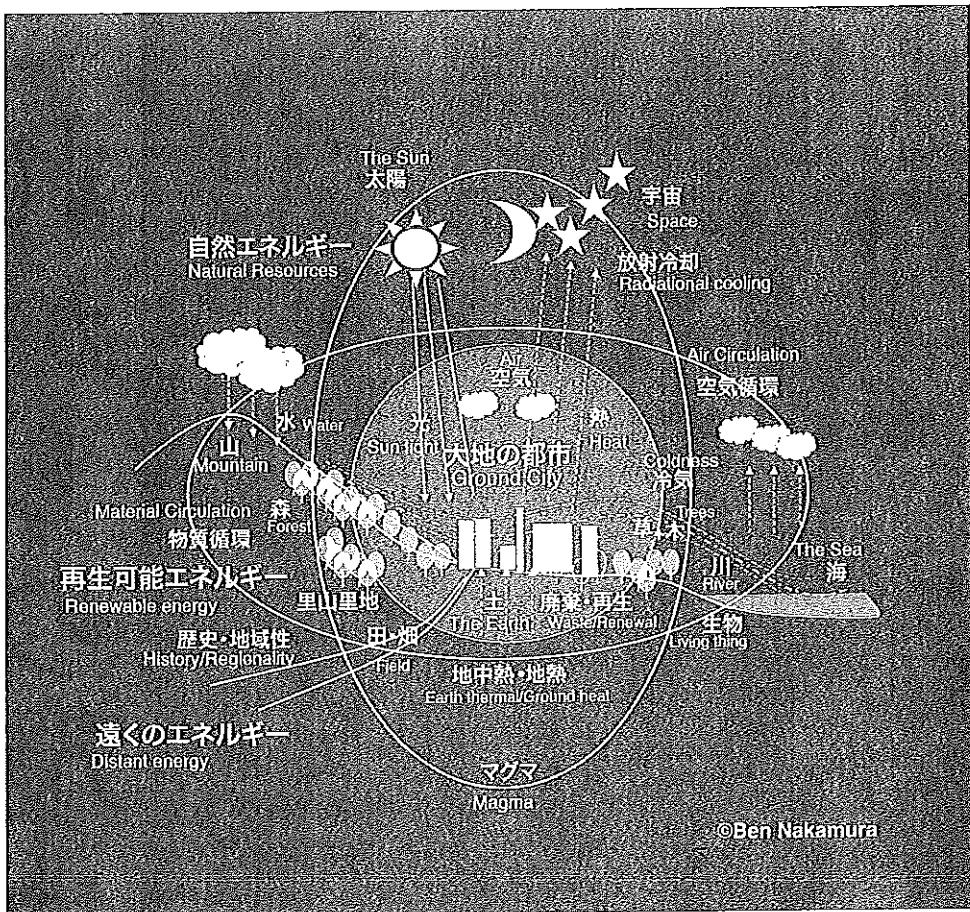
主な作品と受賞  
「みんな保健所」「七沢希望の丘初等学校」「大東文化大学複合キャンパス」などで、日本建築学会作品選奨、ARCASIA建築賞、JIA環境建築賞、岐阜先進建築家リーフ賞、東京建築賞、日本建築士会連合会賞、サスティナブルデザイン賞、グッドデザイン賞等多数

主催：[社]日本建築学会四国支部徳島支所  
協賛：[社]徳島県建築士会、[社]徳島県建築士事務所協会、[社]日本建築家協会四国支部徳島地域会

問い合わせ：[社]日本建築学会四国支部徳島支所  
〒770-8502 徳島市南常三島1-1 徳島大学総合科学部 地域計画学研究室 e-mail:ajsc.tksm@gmail.com  
Tel/Fax:088-656-2235 (事務局長 田口太郎) / Tel:088-642-7257 (支所長 新居照和)

※講演会に先立って、午後1時半から同会場で徳島支所総会を行っています。  
会員のみなさまはご参加ください。

地域特性を活かし、  
低炭素・人口縮減時代にふさわしい  
自立・循環・開放系都市と  
分かち合いのコミュニティをつくる



市民参加型講演会にあたって

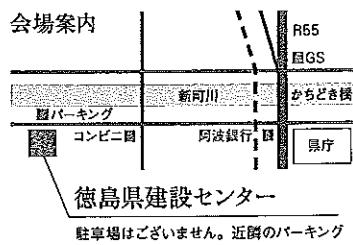
図版出典：日本建築学会  
「低炭素社会の理想都市実現に向けた研究」  
の基本理念より

気候変動、エネルギー問題、資源枯渇・食料問題など地球環境問題に対する待ったなしの行動が求められる時代になりました。2050年までに地球の温暖化を2℃ぐらいまでに抑えようというのがIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の考え方で、そのために70%から80%のCO<sub>2</sub>の削減が大きなテーマになっています。アメリカの環境活動家レスター・プラウンは、IPCCより厳しい予測をした上で、2020年までに世界が80%以上のCO<sub>2</sub>削減をしないとヒマラヤの氷河が溶け出すという、これも人類滅亡のシナリオを描いています。

身近な住まいの周りでも、メダカ、蝶やトンボなど見慣れた生き物をあまり見かけなくなったり、子供のときから経験してきた季節感がもてなくなっています。記録的な豪雨が毎年更新されるようなニュースに慣れてしまい、環境の著しい変化を否応なく感じます。3.11の未曾有の東日本大震災以降、エネルギー問題が深刻さを増し、一方で、南海大地震や、東南海等との巨大連動地震の予測が見直され、防災・減災対策にこれまでにない準備が必要になりました。日本の人口縮減・高齢社会問題、財政・地域経済問題など様々な課題と重なり、それぞれは決して単一課題の対策では応えられなくなったと言えます。私たちのライフスタイルと向き合い見つめなおすことから、自然の営みの中で暮らし、生き抜いてきた人間の知恵を社会に戻す時代を迎えたと考えます。

問題の克服に向けて、専門家の世界に留まらず、様々な市民・住民と問題意識を共有し、連携を育んでいくことと、みんなでつくりあげていこうとする多世代、多様な人々が集まるコミュニティの力や、地域の環境特性を生かしたまちづくりや地域づくりが求められます。

低炭素社会において、木は非常に重要な役割を担います。わが国の環境建築のトップランナーとして活躍されている中村勉氏に、木でつくる2050年ゼロカーボン社会を視野にお話をいただきます。近代化社会の価値観から低炭素社会への転換を意識した中村氏の建築や地域づくりの取り組みが、21世紀の建築のあり方や地域づくりを模索したり、地域の様々な専門家や市民の活動を支える機会に、森林資源に恵まれた徳島において、地域に根ざす建築や環境を育む一助になることを願います。



[社] 日本建築学会四国支部徳島支所長  
新居照和

駐車場はございません。近隣のパーキング  
または公共交通機関をご利用ください。